




第5章


王国



バアル様、我々はこの無垢な子供を捧げます。この子の血が、あなた様のお怒りを鎮めてくれますように。。。

私は、私の靈的な罪の贖罪のいけにえとして、この赤ん坊を捧げます。

イスラエルの子孫達がたどり着いた、パレスチナの地に住む者達の間には、悪がはびこっていた。彼らはカナン人と呼ばれており、イスラエルとは異なった言語を使用していた。彼らは、金や銀、真ちゅう、そして木々等で作られた神々を崇拝し、人間をいけにえとして捧げていた。




神は、彼らがその罪を悔い改めるように、預言者と祭司を送った。しかし、彼らは聞く耳をもたなかった。そこで神は、ノアの時代やソドムとゴモラの時同様に、カナン人たちを滅ぼそうとお考えになられた。

いつの日か、我々もいけにえを捧げられるくらいの立派な大祭司になろうな。

不愉快な思いをさせられるが、やらねばならんことじゃ。善には福を、悪には罰を。




約束の地、カナンに住んでいた偶像礼拝者達は、イスラエルの子孫達の存在を認めず、自分たちの土地を守るために戦いを挑んできた。しかし神は、彼らを打ち負かすため、イスラエルの子孫達に必要な力を備えられた。



よくも、神聖な
神殿へ来られた
ものだな!

あなたは、
最後に残った
自分の子供を
殺してしまった
のだ。



血塗られた戦いに幕が
下ろされ、ヘブル人たちは
敵を征服し、土地を得た。
そこでヨシュアは、人々に
向かって言葉を発した。

我々の父祖、
アブラハムは、偶像礼
拝のはびこる土地から
出てこられた。神様
は、彼を偉大なる国
民とする、と約束
された。



また、神様
は、アブラハム
の民がエジプトへ下ること、
そこに400年もの間とどまること、
そしてその後、今あなたがたが立
っている約束の地へと連れ戻す、
ということを、語っておられた。
500年以上もの年月が経った今、
その昔アブラハムと交わした約
束を、神様ご自身が成就
してくださったのだ。

今こそ、この地に広がり、
落ち着こうではないか。しかし、
この地に未だ残っている罪人達に
惑わされてはならない。神様は、
彼らを裁くのと同じように、
あなたがたを裁かれるのだから。


新しい土地で、彼らは平安を得た。誰もが自分の畑を持ち、食べる物も十分にあった。神は、民全体を豊かに祝福された。



食事ができましたよ。


この岩をどけたらすぐに行くよ。

神が約束された通り、ヘブルの民はカナンので増え広がった。彼らの住む町はどこも、善意と正義と活気に満ちていた。この新しい国は、イスラエルと呼ばれた。



姉妹よ、あなたに平安があるように。今日の魚はどうだい？


いつも通り、新鮮よ。



全能なる神は、我々の敵を滅ぼされたが、この地には未だに偶像礼拝の罪が残っている。この地にいた者達が仕えていた神々か、アブラハムの神か、どちらでも、あなたは今日選ぶがよい。私と私の家とは、全能なる主に仕える。


私達が主を捨てて他の神々に仕えるなど、絶対にそんなことはありません。全能なる神様は、偉大な力をもって私達をエジプトから救い出し、荒野においても養って下さいました。

私達は全能なる神に仕えます。



主は我らのために、
アモリ人を含むすべての敵
を追い払ってくださった。
我々も主に従う。主こそ我
らの神なのだから。

神は聖なる神であり、
ねたむ神である。もしあなたが
たが主を捨てて、偶像の神々に
仕えるなら、主はあなたがた
にわざわいを下し、あなた
がたを滅ぼし尽くす。



あなたがたは、主を選んで、主に仕えるという、自分自身の証人である。

私たちは証人です。

私は、あなたがたが今日、神と結んだ契約を書き記そう。

我々は、モーセに従ったように、あなたに従う。主なる神が、モーセと共に歩まれたように、あなたと共におられますように。誰でも神の戒めに背く者は、死の裁きを受けますように。



雄牛が誰かを
角で傷つけた場合、
神の掟ではどうな
りますか？

モーセは言っ
ている、飼い主は危
害に対しての責任が
あり雄牛は殺さね
ばならぬ。

人々は、モーセの掟を読み、
神と語る士師達によって統治
された。彼らは人々に神の教えを
説き、神に従うよう日々導いた。

出エジプト記21:28-29、
ヨシュア記24:15-24

しばらくの間は、人々も、神がモーセやヨシュアを通してなされた奇跡を覚えていた。エジプトから解放されたことに感謝しており、戒めのとおり全能の神に仕え、ほぶりの捧げものを供えていた。

お父さん、どうして祭司達は僕らの子羊を殺すの？ご先祖達がエジプトにいた頃のように、滅ぼす者が過ぎ越されるの？


いや、息子よ。
滅ぼす者は来ない。
だが、子羊の血が私達の罪をおおうことによって、私達は神の御前に受け入れられる存在となるのだよ。



民は、神を礼拝し、その教えに従う、とヨシュアに約束したのだが、すべての者が継続して、全能なる神を礼拝し続けたわけではなかった。



奇跡を見ることがなくなると、次の世代の者達は生ける神を忘れ、命のない偶像を拝むようになった。また、自分たちの先祖を礼拝することもあった。




ヨシュアが警告していた通り、神はイスラエルを滅ぼすために、異教徒達を送った。

やめてくれー！
バアルの神よ、
お助け下さい！

うおー！


士師記3:7-8、12-13、4:1-2、10:6-7



神の民の上に裁きがもたら
されると、彼らはその教え
を思い出し、自分たちの罪
を告白して悔い改めた。

全能なる神様、
私達の罪をお赦し下
さい。私達に再び平
安をお与え下さい。

民が自分たちの罪を認め
て悔い改めると、神は彼
らを赦し、その地をもと
のように回復させた。



しかし民は、神を求め、
神の教えの書かれた書物
から人々を支配する士師
達に嫌気がさしてきた。
そこで、彼らは、自分た
ちを治めてくれる王を選
ぶことにした。

お前の土地は国
に没収される。娘はこ
ここに置いてゆけ、我々
が面倒を見てやろう。



預言者であり、祭司でもあるサムエルが、民に対し、もし王を置くのなら、神を拒絶することにつながる、と警告した。しかし民は、信仰をもって歩むことなど、もはやしたくはなかったのである。王になったサウル王は、人々に辛くあたり、彼らの土地や金を取り上げた。また、彼らの息子達を奴隷にし、娘達を虐げた。

年を重ねたサウル王は、
やがて邪悪な霊に支配され
るようになり、制御不能な
かんしゃく持ちになった。

ある日、王は彼の為に豎琴を
奏でていた、ダビデという少
年を槍で突き刺そうとした。

サウル王は罪を重ね、周りの者を
ねたみ、常に何かにおびえていた。
悪霊は彼に富と権力を約束したが、
結局それらは彼の精神に苦痛と惨
めさをもたらしたただけだった。



サウル王は生ける神を捨て、魔女達に助言を求めた。

闇が見えます。良い兆候ではございません。あなた様は戦で命を落とし、他の者があなたの後を継ぐでしょう。

サウルは戦で死に、彼の魂は地獄に追いやられた。



神は、サウル王の後継者としてひとりの若者を選ばれた。彼は羊飼いで、神を心から愛し、その教えを忠実に守っていた。彼はかつて、サウルが槍で殺そうとした少年だった。

主は私の羊飼いです。
私は、乏しいことがありません。主は私を緑の牧場に伏させ、いこのみぎわに伴われます。主は私の魂を生き返らせてくださいます。


ダビデは神を心から愛する、義なる人だった。はたして彼こそが人類を罪と死から解放する存在なのだろうか。
ダビデこそが約束された子なのだろうか。

第1サムエル記18:10-11、31:4、16:1-13、
詩篇23:1-3



ダビデの詩

幸いなことよ。悪しき者のはかりごと
に歩まず、罪人の道に立たず、あ
ざける者の座に着かない人。主のお
しえを喜びとし、昼も夜もそのおし
えを口ずさむ人。

A man with dark, curly hair, wearing a grey tunic and a brown sash, is kneeling in a field. He is holding a small, woven basket and appears to be tending to it. In the background, there are several white sheep grazing in a green field. A large tree with green leaves is on the right side of the frame. The sky is blue with some clouds. The overall style is that of a classic illustration or a comic book panel.

その人は、流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結び、その葉は枯れず、そのなすことはすべて栄える。

悪しき者は、そうではない。まさしく、風が吹き飛ばすもみगरだ。それゆえ、悪しき者は、さばきに、罪人は正しい者のつどいに立ち得ない。まことに、正しい者の道は主が知っておられ、悪しき者の道は滅び去る。
(詩篇 第1篇)

サウル王の死後、ダビデはイスラエルの王となり、神を礼拝しその教えに従うよう、民を導いた。



彼女に土地を返還しなさい。また、これ以上税が課せられないようにせよ。

ダビデの統治下で国は栄え、人々は正直に生きた。


第2サムエル記2:4、詩篇1、使徒の働き13:22-23

神はダビデに語りかけられ、
将来起ころうとしている事柄に
ついて、多くを明らかにされた。
ダビデはそれらの預言を詩篇に
書き記した。その多くは、実際
すでに成就されている。



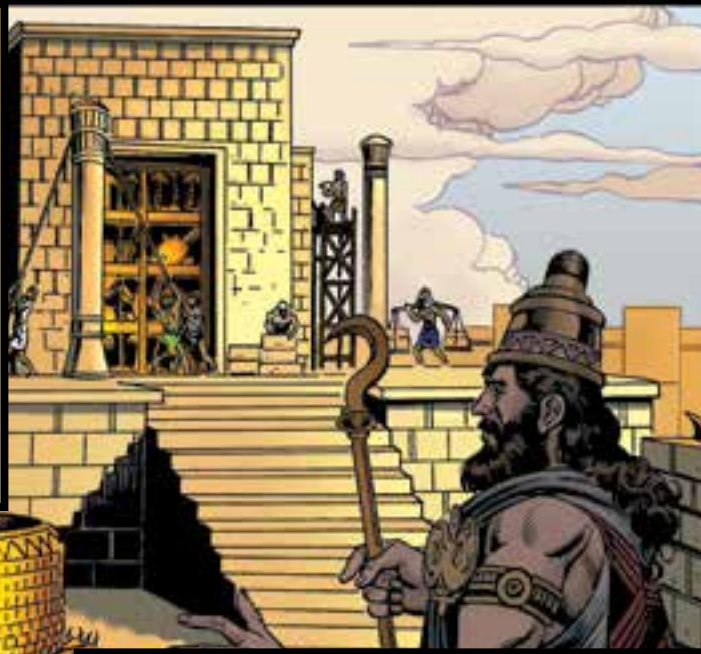
彼が義をもって、あなたの民を
さばきますように。公正をもって、
あなたの苦しむ民を。王が、民
の苦しむ者たちを弁護し、
貧しい者の子らを救い、
虐げる者どもを打ち
砕きますように。
彼の代に、正しい者が栄え、
月がなくなるときまでも
豊かな平和があります
ように。海から海に至る
まで、川から地の果てに
至るまで王が
統べ治めますように。

ダビデは義なる人であったが、罪を犯すことがなかったわけではない。したがって、彼は、約束された救い主ではなかった。彼は、救い主について、こう書き記した。


A man in a blue robe is seated at a desk, writing with a quill pen. The desk is covered with a patterned cloth and has a scroll on it. In the background, there are red curtains and a lamp with a flame.

こうして、すべての王が彼にひれ伏し、すべての国々が彼に仕えるでしょう。虐げと暴虐から王は彼らのいのちをあがないます。王のためにいつも彼らが祈り、絶えず王をほめたたえますように。王の名がとこしえに続き、その名が、日の照るかぎり増え広がりますように。人々が彼によって祝福され、すべての国々が彼をほめたたえますように。
(詩篇第72篇より)

神はダビデに言われた。「あなたが死んだ後、わたしはあなたの息子のもとに王国を設けよう。彼はわたしのために神殿を築き、わたしはそこで礼拝される。わたしは彼の王国を堅固なものとする。」



ダビデの死後、彼の息子であるソロモンが即位した(紀元前971)。神がダビデに与えていた指示通りに、ソロモンは神殿を建て(紀元前966)、荒野で遣われていた、老朽化していた幕屋を建て直した。

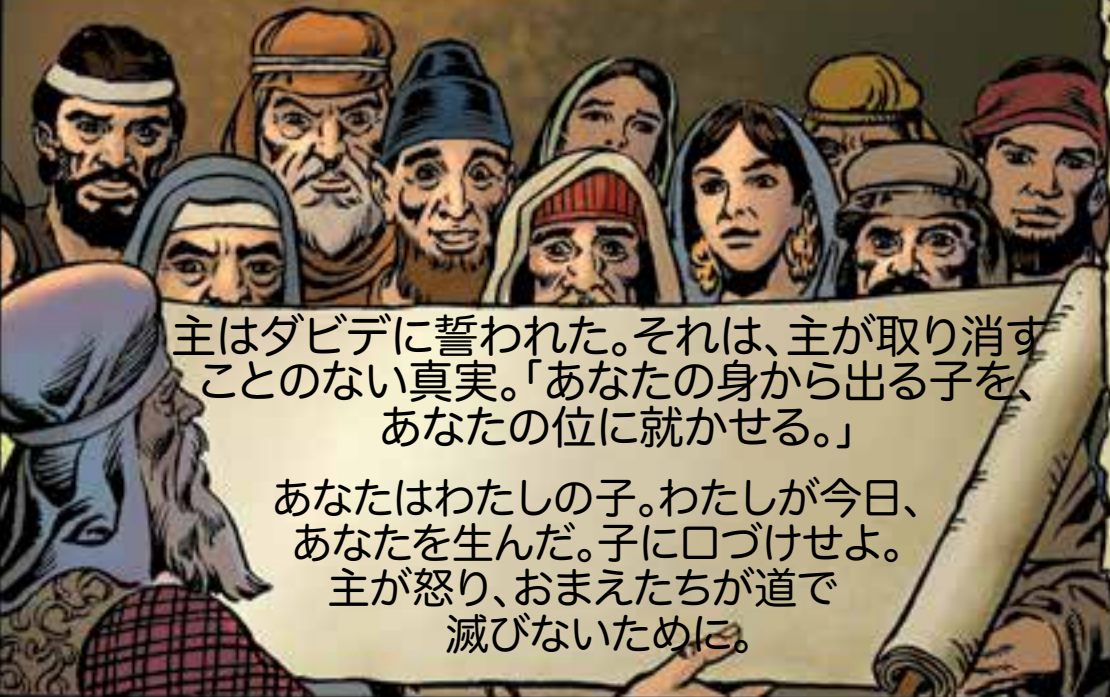


イスラエルの人々は、かつてないほどに栄えていった。真に神は、約束された土地において彼らを祝福する、という約束を成就してくださったのだ。

しかしまだ、成就していない約束もあった。悪を打ち破る救い主の到来についての、約束だ。人々は未だに罪を繰り返し、そのために動物の血が、あがないのために捧げられていたが、彼らは、いつか、救い主が永遠に彼らの罪を取り除いてくださる日まで、自分たちの罪をおおうために必要な道を、備えてくださっている神に感謝した。

第2サムエル記7：
12-16、詩篇72
：1-20

人々は神殿にやってくると、
聖なる書卷からの教えに耳を
傾けた。彼らは特に、来たる
救い主についての預言を聞く
ことに、喜びを感じた。



主はダビデに誓われた。それは、主が取り消す
ことのない真実。「あなたの身から出る子を、
あなたの位に就かせる。」

あなたはわたしの子。わたしが今日、
あなたを生んだ。子に口づけせよ。
主が怒り、おまえたちが道で
滅びないために。

ダビデは、来るべき救い主について、
多く書き記した。

主は、わたしの主に言われた。「あなた
は、わたしの右の座についていなさい。
わたしがあなたの敵をあなたの足台
とするまで。

(詩篇110:1)

神よ、あなたの王座は世々限りなく、
あなたの王国の杖は公平の杖。あなた
は義を愛し、悪を憎む。それゆえ、神
よ、あなたの神は喜びの油をあなたに
注がれた。あなたに並ぶだれにもまして。

(詩篇45:6-7)

来るべき救い主について の更なる預言

わたしもまた、彼をわたしの長子、地の王たちのうちの最も高い者とする。

(詩篇89:27)

わが神よ、私はあなたのみこころを行うことを喜びとします。あなたのみおしえは私の心のうちにあります。

(詩篇40:8)

わたしは口を開いてたとえ話を、昔からの謎を語ろう。

(詩篇78:2、マタイ13:34-35)

ダビデは、来るべき救い主について、こんな不思議なことも記している。水のように私は注ぎ出され、骨はみな外れました。心はろうのように私のうちで溶けました。私の力は、土器のかけらのように乾ききり、舌は上あごに張り付いています。

死のちりの上に、あなたは私を置かれます。

犬どもが私を取り囲み、悪者どもの群れが私を取り巻いて、私の手足にかみついたからです。私は自分を凝らし、私を見えています。彼らは私の衣服を分け合い、私の衣をくじ引きにします。

(詩篇22:14-18)

ソロモン王の統治は、永く繁栄をもたらした。しかし、彼の死後、王国の北半分が分裂し、ヤロブアムという邪悪な男が王となった（紀元前975年）。

これこそが、あなたが
たをエジプトの地から連れ
出してくださった神で
ある。そして、ここに
いるのがその祭司達だ。

しかし、モーセの
教えと、神がお建て
になられたエルサレ
ムの神殿はどうなる
のですか？


第1列王記12:20、28-29、詩篇2:
7、12、22:6、14-18、40:8、78:
2、45:6-7、89:26-27、110:1、
4、132:11

北王国は、エルサレムにある神殿から遠く離れていたため、彼らは、自分たちの手で金の子牛を作り、独自に偶像礼拝の場を建設した。

神といっても様々な形がある。ある者達はエホバと呼び、ある者はアラヤケモシュと呼ぶ。我々はバアルと呼ぶことにしよう。


しかし、神様がその予言者達にお与え下さった聖なる書物はどうなりますか？そこには、神様以外の神々を求めてはならないと記されています。神様は唯一のおかたであり、神様への道はたったひとつである、と。






お前は神が心の狭い方だと思っているのか？


そんなへりくつは聞きたくない！これからはバアル信教を国教とする。逆らう者は、死刑だ！




祭司達が、偶像礼拝のために選んだ雄牛は、罪深いケルビムであるルシファーを象徴したものだ。彼らは悪魔を礼拝していたのだ。しかし彼らはそのことに気づいてはいなかった。悪魔は、民を、神の約束された救い主から遠ざけることができ、歓喜に満ちた。



バアルよ、
このいけにえ
を慎んでお捧
げします。




天の女王をほ
めたたえよ。神の
母よ、我らの祈り
を聞き、我々の罪
を許したまえ。



この神聖な場
で一体、何をし
ているのだ!

そなたたちが拒んだ、全能
なる主のみことばに耳を傾けよ。
ひとりの男の子がダビデの家に生まれる。
その名はヨシヤ。彼はこの祭壇において、
バアルの祭司たちを焼くことになる。

第1列王記12:28、
13:1-2、エレミヤ書
44:17-25



なぜそんなことが言える？未来のことは、神々にしか分からないのだぞ。

主なる神のみことばだと申しておるのだ。ここにいる祭司たちの骨は、この祭壇の上で焼かれるのだ。



これが、主の告げられたしるしである。見よ、あなたがたが築き上げた、愚かな偶像の祭壇は、裂けて、その上の灰はこぼれ出る。

はっはっは、ロバのいななきの
ような、こやつやかましいわごとを
聞いたか？
自分は正しくて、周りは皆、
間違っていると思っ
ているようだ！



こいつを捕らえ
て殺してしまえ！他人
の宗教に難癖つける
ことは許さん！

腕が萎えていく！
全能の神が罰しておら
れるんだ！腕をもとに
戻すよう、神に祈
ってくれ！





主なる神よ、
あなたのお力を、
お示してください。
王の腕を癒し
たまえ。




奇跡だ！
神が癒してく
ださった！

第1列王記13:2-6

ドスーン! ガシヤーン!
ひいひいっ!

やめてくれー!

全能の神がお語り
になられておる!



まことにあなたは、
神に遣わされた者だ。バアルの
預言者たちは誰も、このようなしるし
を行えない。私と一緒に来てください。
共に飲み、食べて、身を休めましょう。
そして、この日、あなたがおこなった
神への大いなる働きに対して、富と
名誉を贈らせてください。

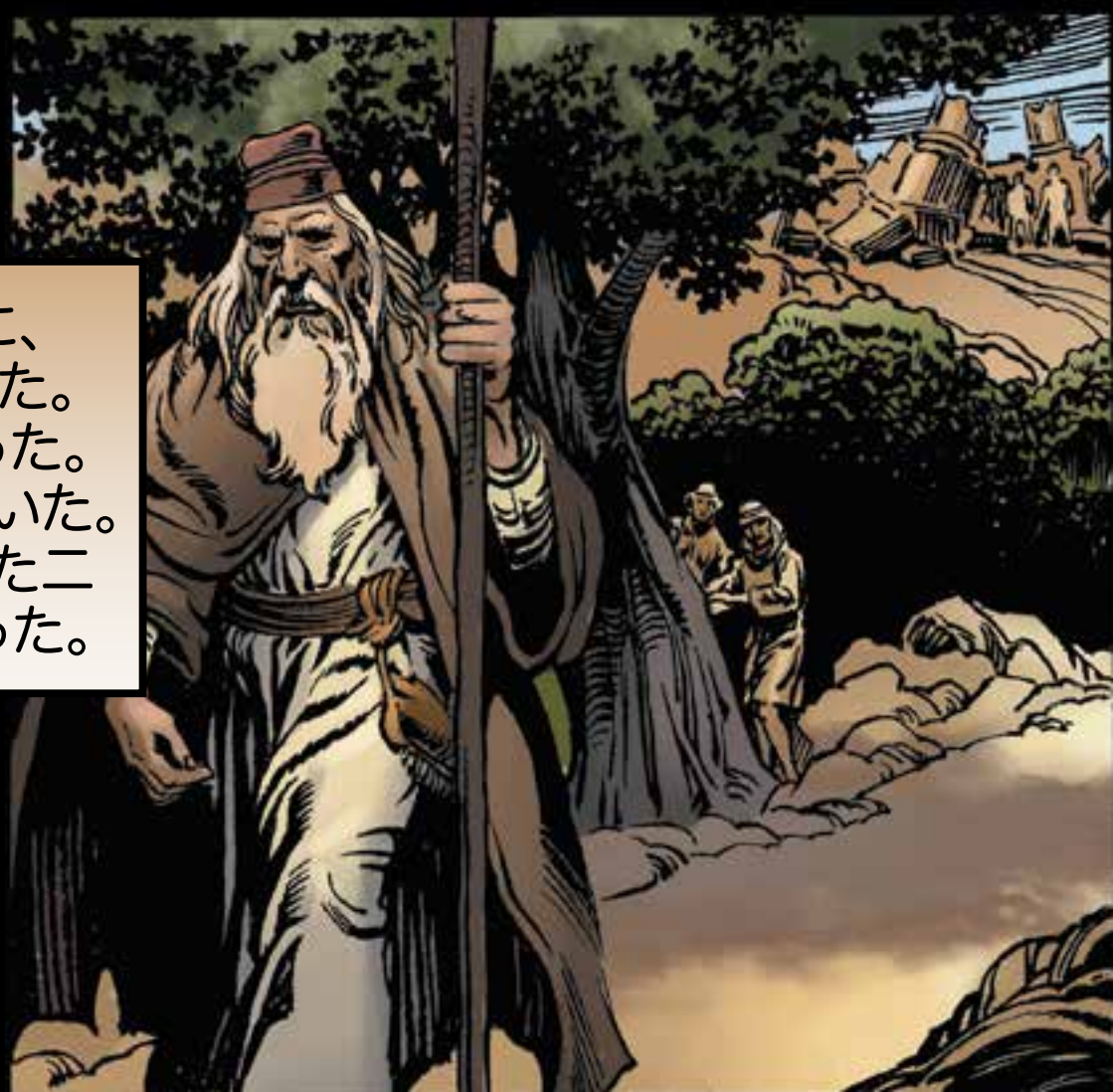
わたしはあなたと一緒にまいり
ません。主の言葉によってわたしは、
「イスラエル滞在中、パンを食べてはな
らない、水も飲んではいけません。また、
もと来た道を通って帰ってはいけません。」
と命じられているからです。


全能の神が私の宗教を壊してしまった。もう何も残っていない。

しかしあなたは、祭司たちの骨が祭壇で焼かれると言われましたが、その祭壇はなくなり、誰も死ぬことはありませんでした。

わたしにも分かりません。ただ言えるのは、私ではなく、神が語られた言葉なのだと思います。

神がお命じになられたように、
予言者は別の道を通って帰った。
彼は2日間、飲まず食わずだった。
非常に空腹を覚え、喉も渴いていた。
金色の牡牛の偶像を拝んでいた二人が、
予言者の後をついていった。






お父さん、もし
自分のこの目で
見ていなかったら、
僕はとうてい信
じられなかったよ。
まるで古代の、
イスラエルの預
言者たちの様
だった！

急げ！ロバ
に鞍をつけよ！
彼を見つけに
行くぞ！

お父さん、彼の言っ
ていることは本当なの？
全能の神だけが、唯一の神
様なの？僕たちの偶像は、
単なる木材と金であって、
それ以上の存在ではな
いってこと？



彼は、木の下で休んでいる、全能なる神の預言者を見つけた。それほどの力を持っている男に、近づいてみたくなったのだ。彼も、以前は神の預言者であったが、王国が分裂した際、国民とともに偶像礼拝の道に進んでしまっていた。宗教はどれもみな、同じなんじゃないか、と結論づけたのだ。




ユダから来られたという神の預言者とはあなたのことですか。さぞ、お疲れでしょう。私の家においでください。何か、食べ物と飲み物を用意いたしましょう。

いいえ、この場所では飲食は出来ないのです。神が命じられましたので。

ありがたい！ 私は喉が渴いていたのです。

実は私もあなたと同じ、預言者なのです。今朝、神の御使いが現れ、あなたを私の家に迎えてあなたに食べ物と飲み物を差し上げるように、とおっしゃられたのです。



素晴らしい食事でした。
さて、私はユダへ戻ら
なくては...

全能なる神がお語りになり
ました。「この地において飲食をしては
ならない、という神の言葉に、あなたは
従わなかった。あなたの死体はユダに戻
ることは出来ず、家族と一緒に墓に葬ら
れることはないであろう。」

父さん、それ
って預言ですね。
神様は父さんにも
お語りになら
れたの？

そうだよ、
息子よ。
この何年かで
初めての
ことだ。



第1列王記13:10-22


彼は死ぬって
いうことですか？

残念ながら、そう
なる。私が悪いんだ。

神が、ご自身のおことばに対して常に誠実であられる、ということを知っていた預言者は、重い心のままその家を後にした。彼はいつか自分は死ぬ、ということを知っていた。ただ、その時がこんな形で、こんなにも早く訪れるとは、予期していなかったのである。



うわー！




あれはユダの
預言者だ!

もっと奇妙なこと
に、ライオンとロ
バが、一緒に傍らに
座って、預言者の身
体を守っているかの
ように見える。

こんな光景は今
まで見たことがない。
ライオンが彼の命を奪
ったようだが、そのラ
イオンは側にただ座っ
ている。彼を食べよう
ともしない。

偽預言者は、ユダの預言者を抱え上げ、神が滅ぼしたバアル神の祭壇近くに位置する、バアルの預言者達に与えられた墓地の、自分の所有地に、彼を埋葬した。

A man with a long white beard, wearing a blue robe, is shown from the side, talking to a dark-colored donkey. The donkey is facing away from the viewer towards a large, ornate stone structure with a staircase leading up to it. The scene is set outdoors with a warm, golden light.

神は、命令に背いた彼に裁きを下された。確かに神の預言は現実となる。

神の預言者は葬られ、やがて、一部の者をのぞいて、その存在は忘れられていった。バアルのための祭壇は再建され、300年経った後もまだ、礼拝用に使用されていた。しかし神が仰せられたように、そこで再び人間のいけにえが捧げられることはなかった。

第1列王記13:23-31、第2列王記21:24、22:8-11、23:1-3

300年の後、ユダ王国ではヨシヤ王が王位についた(紀元前640年)。王は、神殿に赴いた際、聖書の写しを見つけた。国民が、生ける神の存在を忘れて、偶像礼拝を犯している現実に、心かき乱される思いだった。そこで王は、すべての長老、預言者、祭司を含む、すべての住民を招集し、聖なる書物を読み聞かせた。

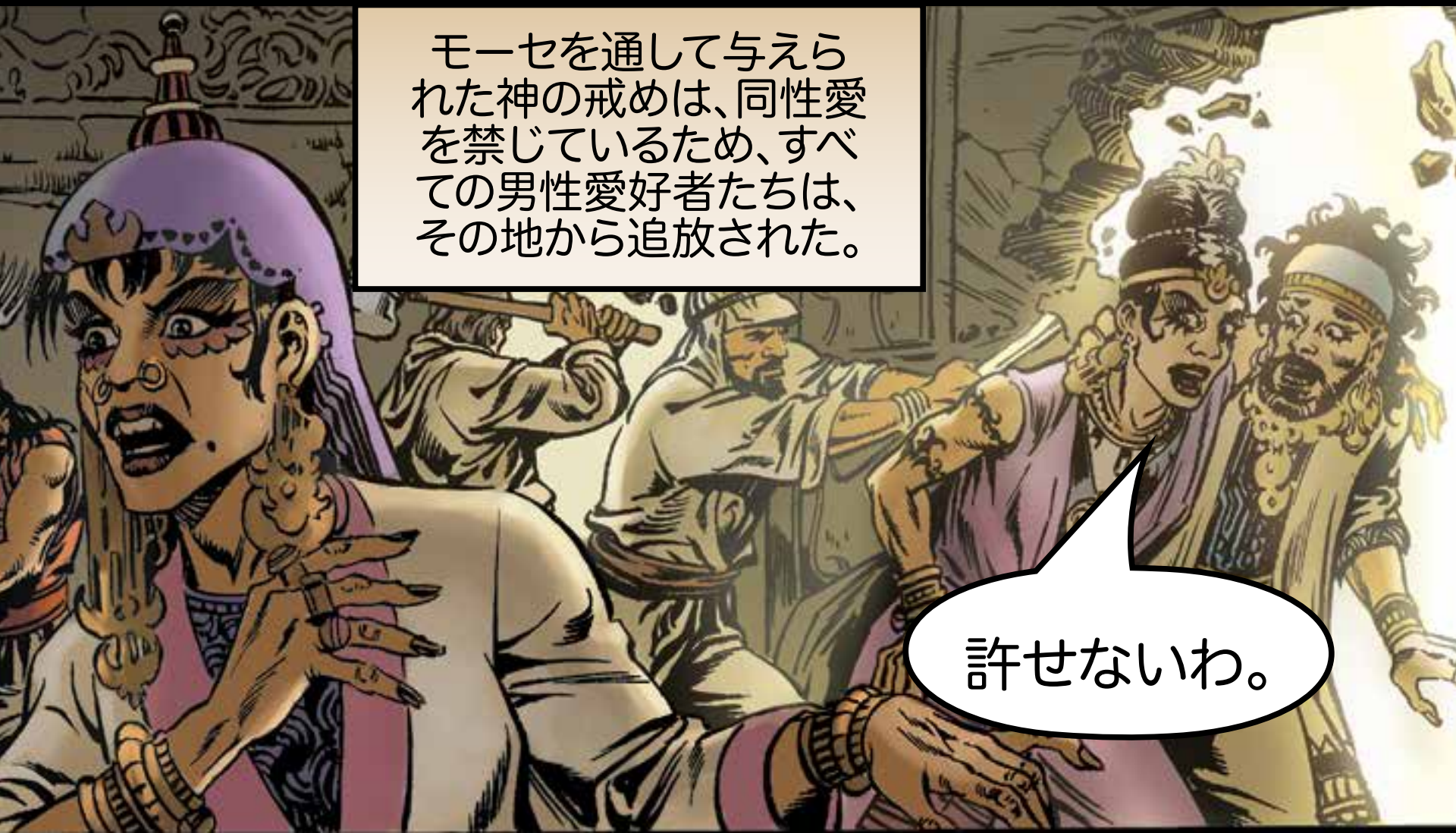


民は、これまでの罪を恥じ、書物に書かれている言葉に従うことに同意した。



聖母よ、お助けください。


民は神の教えに従い、地にはびこる全ての偶像を破壊した。そして、太陽や月、惑星、または天の女王を拝み、それらに対して香をたく祭司達を滅ぼした。



モーセを通して与えられた神の戒めは、同性愛を禁じているため、すべての男性愛好者たちは、その地から追放された。


許せないわ。

彼らはまた、霊使いや霊
媒師、魔女達を一掃した。



その水晶玉
を砕き家を
焼け!

第2列王記23:5、7、10



彼らは祭壇と、偶像
全てを破壊し木々を
切り倒し、それらを
全て粉々にした。

ヨシヤは、300年前
に預言者が、当時初代
の王であったヤロブア
ムに対面した、祭壇の
高き所にやってきた。

神は唯一の神であり、
偶像を通して礼拝されるべ
きお方ではない。偽の祭司
達は、民を惑わし、全能なる
神から人々を遠ざけてし
まったのだ!



お前は死刑だ。


再び祭壇は裂かれ、
灰はこぼれ落ちた。

全ての偽祭司達は殺され、
廃墟と化した祭壇の上で焼かれた。



第2列王記23:15-16

近くには、偽祭司達のための墓があった。民がその墓を拝むことがないように、ヨシヤは彼らの骨を掘りおこし、その祭壇で焼いた。



すべての骨
を焼き尽く
すのだ。

かくして、300年も前に、
神の使いによって預言され
たことが成就した。


それなら彼の骨はそ
のままに。他の骨は焼
くのだ。神の祝福のも
と、偶像崇拜は終わり
を迎えねばならぬ。

しかし、陛下、
この墓は300年ほど前に
ユダから来た、まさに今
日を預言した神の使いの
者の墓でございます。
彼はまさしく、ヨシ
ア王、あなた様が今日、
ここへ来て行われた事
を預言しました。

主なる神をほめたたえよ、全宇宙をつかさどり、恵みの産物を地より生み出してくださるお方を。

偶像礼拝がなくなった後、ヨシア王は、かつて父祖達をエジプトから救い出してくださった全能なる神を覚えるために、過ぎ越しの祭りを再開することを命じた。





お父さん、どうして今日はいつもと違うの？

そこで父親は、どのようにして神が父祖達をエジプトの苦役から救われたのか、また、幕屋に関することや神の教えについて、彼らに話して聞かせた。そして、死の使いからその家の長男を守るために、門の柱に塗られた血のしるしのことも。その夜起きた出来事は、かつてない過ぎ越しの体験だったのである。



<https://goodandevilbook.com/>